

## 札幌市立美香保中学校の取組

### 1 道徳科の指導について

#### ・授業づくりのポイント

検定教科書の使用を見据え、おもに副読本を使用し、読み物教材を読んで考えたり議論したりする実践の充実を図った。実践における授業づくりのポイントとしては、本時の中での生徒の心情や、その変容を見取る試みとして、心情円や心情スケールを用いての「心情の見える化」を図ったことが挙げられる。生徒が教材の登場人物について、自分との関わりの中で考えた心情や、同様に他の生徒が考えた心情を「見る」ことを通して、より一層深く「自己を見つめ」たり、「多様な価値観の存在を前提にして、多面的・多角的に考察」したりすることができたと考える。また、心情円を二つ使い、授業の初めと終末とで二度心情を示すなどの工夫を行ったことで、本時の中での生徒の変容を、生徒本人や授業者がより具体的に「見て」捉えることができた。さらに、毎時間ごとに、ほぼ同形式のワークシートを使用し、ファイルに蓄積することで、一定の時間的なまとまりの中での、生徒の成長や変容を見取ることも意識して授業づくりを行った。

#### ・多様な学習展開

読み物教材を中心としながらも、生徒の実態や成長の様子、学校行事との関わり、地域の実態などに合った教材を活用するために、パワーポイントや映像教材なども交えながら授業を展開した。また、グループでの話し合いや、本校で研修を深めてきたエンカウンター技法を用いるなど、多様な学習活動を取り入れることで、道徳性を養うための効果的な実践をめざした。

### 2 道徳科の評価について

#### ・評価の工夫と留意点

ワークシートの記述内容や学習活動における生徒の姿から、生徒がどのようなことを考え、感じたのかを毎時間の授業の評価として見取ることができるように留意した。また、記述されたワークシートは、一度回収した後で返却し、ファイルに蓄積することで、一定の時間的なまとまりの中で生徒の成長の様子を見取ることができるように留意した。

#### ・校内で共通理解を図るための手だて

道徳科の評価について、校内研修会の中で、道徳教育推進教師研修の資料などを用いての推進教師からの講義や、具体的な評価方法などについての協議を行った。また、各

学年部会の中で道徳科の指導計画や指導案、ワークシートを検討したり、本事業に係る公開授業に向けて授業づくり検討会を開いて、指導案検討や意見交流を行ったりした。さらに、公開授業後の討議や、助言者の先生からの講話を通して共通理解を図るなどの手だてをとった。